

# 清流

西栗倉中学校だより  
令和7年5月19日(月) 発行



## 15の春の自立を地域とともに目指す活力のある学校

(学校教育目標)

未来を拓き たくましく生きる力の育成 ～ 自律 協働 挑戦 ～

### (校長雑感)

「置かれた場所で咲きなさい」という言葉を聞いたことがありますか？少し前（2012年）に出版された、ノートルダム清心女子大学の渡辺和子先生の書籍のタイトルにもある有名な言葉ですね。私も節目ごとに、自身を振り返る際の基本にしています。この言葉は、「どんな環境にいても、今できることを見つけ、前向きに努力することの大切さ」を教えてください。時には思い通りにならないこともありますが、大切なのは環境を嘆くのではなく、その中で自分なりに何ができるのかを考え実践（挑戦）することが大切だと思っています。

4月には、西栗倉村の教育について考える機会が多くありました。西栗倉村の教育大綱（すべての教育の基本）には、「生きるを楽しみ、百年の森林とともに未来をつくる」とあります。「百年の森構想」という壮大なプロジェクトが進行している中、教育の目標も壮大ですよ。この壮大な目標の下、中学校時代を過ごしている生徒達には、総合的な学習における探究活動（「あわくら未来学+」）を通して地域（村）のことを知り、考え、何らからの実践や提案ができたかと考えています。学校の周りには、多くの大人がいます。大人同士が学び続け、挑戦し続けている姿を知り、「自分には何ができるのか」を考える。その際のキーワードは「生きるを楽しみ」にある「楽しむ」です。Nestを通して、小中学生が企画したイベントが実際に行われています。（参加募集のチラシが配られたりしています。）「やってみたい」を実現しようと後押しをしてくれる地域の大人の存在に感謝しながら、自身で楽しみながら挑戦していく中で、新たな発見をしたり、よりよく生きるための方法を考えたりすることができたらと思います。

現在の中央教育審議会での議論を見ていると、世界と比べて日本の子どもたちは「うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む」「失敗を恐れる」「『自分の考え』を書くことが苦手」「社会に対する若者の意識が諸外国に比べて低い」などの傾向があるそうです。誰もが住みよい村にするために、楽しみながら挑戦し続ける経験を積むことでこの傾向を打破できたらいいですね。

※ 今年度より右ページの学校の様子はHPで代替しています。4月は20の記事が上がっています。HPを是非ご覧ください。  🔍 (もしくは下記)

<https://www.vill.nishiwakura.okayama.jp/wp/nishiwakurachugakko/>